



# レールダル バリュース

誇りあるレールダルの歴史

明確なビジョン

健全な企業文化

学ぶことへの意欲

向上を目指し続ける情熱

たゆみない発展へのコミットメント

世界の医療向上への貢献

表紙について：

レサシアンは CPR（心肺蘇生）のトレーニングのために、これまで3億人を超える世界の人々に使用されてきました。

このレサシアンの顔は、100年以上前にセーヌ川で水死した少女のデスマスクから発想を得たものです。

## 重要な目的

私たちの日々の仕事は、治療やトレーニングのための製品やソフトウェアおよびそのアプリケーションを提供することが中心となっています。

しかし、その真の目的は、救命率を向上させること、すなわち『Helping Save Lives』に大きな貢献をすることです。

  
Tor-Morten Osmundsen

  
Tore Lærdal



# 誇りあるレールダルの歴史

創業者であるオスムンド S レールダルは、患者と医療従事者の双方のニーズを理解する彼の類いまれな能力にもとづいて、レールダル社の企業文化を作り上げました。

彼は次の原則を体現することによってのみ、事業を永続的な成功に導くことが可能だと確信していました。

- ・ 傾聴力
- ・ 絶え間なき好奇心
- ・ 実践的な問題解決能力
- ・ 顧客第一主義
- ・ 勤勉と継続的改善への情熱

私たちは彼の信念が今日においても当てはまるものと信じています。



# 明確なビジョン

私たちのビジョン：

何人たりとも出産の時、あるいは突然の病や怪我によって命を  
落とすこと、身体が不自由になることがあってはならない

---

私たちのミッション：

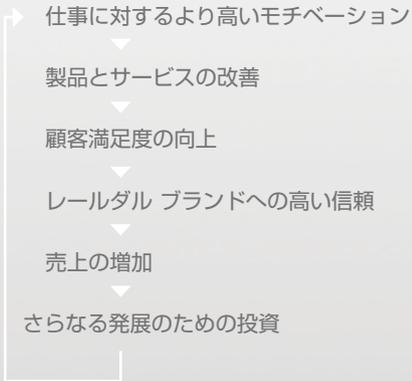
Helping Save Lives（救命への貢献）

私たちは、常に自己の能力を開発し積み上げていくこと、  
レールダルの企業文化に忠実であり続けること、  
そして救急医療関連団体と緊密に力を合わせること  
によって、ビジョン実現に貢献できるものと信じています。



# 健全な企業文化

日々の業務にレールダルバリューを取り入れることで、このように良い循環が生まれます。





# 学ぶことへの意欲

私たちは次のような時に、顧客に提供する価値を向上させることができますと信じています。

- ・顧客から熱心に学ぼうとする意欲を示す
- ・真のニーズに応えていく
- ・長期的な観点からビジネスチャンスをとらえる
- ・オピニオンリーダーや製品ユーザーと連携を取る



TO PREVENT INFANT FALL, DO NOT LEAVE INFANT UNATTENDED WHEN ANY PANELS ARE DOWN.  
**WARNING** ALL PANELS MUST BE SECURED AND LOCKED DURING TRANSPORT TO PREVENT INFANT FALL.

# 向上を目指し続ける情熱

レールダルの歴史に誇りを持つことで満足してはいけません。  
私たちが事業を行っている分野において尊敬されるパートナーであり  
続けるためには、私たち自身が向上し続けなければなりません。

そして、私たち全員が次のことを実践すれば、向上につながるのです。

- ・ Helping Save Lives というミッションへのチャレンジ精神を共有する
- ・ 共通の目的を実現するために協働する
- ・ お互いに尊敬し誠実であることによって、日々信頼を築く
- ・ 挑戦を糧としてビジネスチャンスを見出す
- ・ 自身で責任を持つとともに、他の人にも責任感を持たせる
- ・ 的確な情報を探して、互いに共有する
- ・ 日々良き模範となる



# たゆみない発展への コミットメント

経済的および社会的発展に貢献することで、レールダルは多くの地域社会に影響を与えています。従って、私たちには社会的にも環境的にも健全な方法で事業を行っていく責任があります。

そのために、私たちは次のことを追求しています。

- ・ 高い倫理基準を持った、効果的でグローバルな組織を作り上げます
- ・ 私たちの価値観と倫理基準を、供給業者と共有します
- ・ 健全な経営上の意思決定を通して、環境に対する影響を最小限に抑えます





# 世界の医療向上への貢献

現代の救命技術をもってすれば防げるはずの多くの死亡、  
特に出産時の母子の死亡が発展途上国で起こっています。  
私たちは、先進国が恩恵を受けているのと同様、発展途上国に  
対しても、そのニーズに合った、効果的で、文化的に適合した  
製品ソリューションを、無理なく購入できる価格で提供していきたい  
と思っています。

ミラ(20歳)は十分な訓練を受けた助産師がいた  
おかげで、出生時の重度合併症を乗り切り、シーファを  
無事出産することができました。



**Laerdal**

helping save lives



この冊子に記されている  
「レールダルバリュウ」を日々  
実践することによって、  
私たちのミッションを実現  
できると考えています。

1990年11月、ルイズ オーウェン(当時妊娠26週目)は、  
CPRと除細動のおかげで蘇生が成功し、彼女も赤ちゃんも  
一命を取りとめました。

(写真：ルイズ オーウェンと愛娘のケイティ)



**Laerdal**  
helping save lives